

区立学校における 教育ダッシュボードの運用について

令和7年4月

渋谷区教育委員会

保護者の皆様へ

社会環境の急速な変化に伴い、子供たちが抱える課題が複雑・多様化する中で、学校教育には、子供の発達や教育的ニーズを踏まえつつ、一人一人の可能性を最大限伸ばしていく教育が求められています。こうした中で、子供たちの抱える思いや願いに向き合い、「個性の発見とよさの可能性の伸長」に資するよう、渋谷区では「教育ダッシュボード」を導入し、子供たち一人一人の幸せ (Well-Being) の実現を目指しています。

教育ダッシュボードは、これまで学校が個別に把握していた複数の情報を集約・可視化した「教職員向け教育ダッシュボード」と、日々の学習の振り返りや日記をデジタル化した「HACHIアプリ (NEXTシート)」の2本の柱からなるシステムです。

教職員向け教育ダッシュボードでは、子供たちの学習に対する興味・関心や学校生活での悩みなどを丁寧に見取ることができるようにし、子供たち一人一人の状況を多面的に把握することにより、学習指導・生徒指導・学級経営・学校運営など教育活動の各場面において、一人一人の力を最大限に引き出すためのきめ細かい支援が可能になると考えています。

HACHIアプリ (NEXTシート) の活用については、子供たちが、自らの学習を振り返って次の学習に意欲的に向かうことや、友達の良さや頑張りを認め合い自己肯定感・自己有用感を高めることをねらいとして、導入しています。また、教員は子どもたちの振り返りや日記への返信を通して、学びの変容や成長の自覚、次の学習への見通しや課題解決の方向性を確認して支援したり、子供とOne on Oneで向き合う時間を充実させることができます。

保護者の皆様におかれましては、学校における教育ダッシュボードの運用について、ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

画面イメージ



HACHIアプリ (NEXTシート)
日々の学習の振り返りや日記をデジタル化したもの。
子供たちが入力し、子供自身と教職員が閲覧します。

教職員向けダッシュボード

これまで学校が個別に把握していた複数の情報を集約・可視化したもの。
教職員が閲覧します。

The interface shows a weekly unit review form with the following sections:

- 週・単元**: A header section with navigation icons.
- めあて**: A section for setting goals, including '気持ち' (Mood) and '振り返り' (Reflection).
- えらびましょう**: A section for selecting 'ひげ目付' (Subject), 'きょうか' (Lesson), and 'なんじかんめ' (Time interval).
- ぜんき むくひょう**: A section for '前期目標' (Previous period goal) and 'つき むくひょう' (Monthly goal) with a dropdown for '4月' (April).
- 振り返りをしましょう**: A section for reflection questions:
 - 自分で学び方を考え、学習計画を立てることができたか？(アプリ等)
 とてもそう思う そう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
 - 自分で設定しためあては達成できたか？
 とてもそう思う そう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
 - 学習は楽しかったか？
 とてもそう思う そう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
 - 新しいことを知ることができたか？
- おくる**: A button to submit the form.

教職員向けダッシュボードについてのQ&A



1 教育ダッシュボードとは何ですか？



渋谷区の教育ダッシュボードとは、これまで学校が個別に把握していた複数の情報を集約し、可視化したものです。この可視化されたデータは、子供たちの一人一人の状況を踏まえた指導や支援等に生かしていくための一助とするものです。

教員は、過去の状況との比較や変化を確認しながら、子供たちの学校生活の様子や心身の成長の状況を丁寧に見取ることができます。

ただし、これらの情報は、あくまで子供たちの一側面のみを可視化したものであることに注意しつつ、子供たちへの理解を深める上での参考として活用します。



2 教育ダッシュボードは何のために運用するのですか？



教育ダッシュボードは、子供たちへのきめ細かな指導・支援及び学校・学級運営、学習・学校生活に係る教育施策の改善に生かすことを目的として運用します。

渋谷区では、タブレットを積極的に活用して、学習者主体の新たな学びを進めると同時に、教員が子供たちと一対一で向き合う時間をより充実させることを目指しています。日々の教育活動の中で蓄積される情報(教育データ)の利活用により、例えば、教員が子供たちの学習に対する興味・関心を丁寧に見取ったり、子供たちの課題を早期に発見したり、受け持つ子供たちに適した教材等を準備できることが期待されます。



3 子供たちの理解と支援・指導は、教育データを活用しなくてもできるのではないのでしょうか？



昨今、子供たちのおかれている環境や、子供一人一人の思いや願いは多様化しています。一方、これまで学校では教員の経験知を中心に指導や支援が行われてきました。

子供たちの多様化が進む中、教員のこれまでの経験に加えて、タブレット端末により収集した教育データを活用することにより、教員がこれまで以上に多面的・多角的にしっかりと子供たちの思いや願いを捉えることができるようにし、子供たちと教員とのOne on Oneで向き合う時間を充実させていきます。

教育データの活用は、教員の子供たちへの理解を一層深め、きめ細かい指導や支援を充実させるとともに、全ての子供たちにとって学校が安心して楽しく通える場所になるよう環境づくりを進めることができると考えています。



4 教育ダッシュボードに集約されている情報はどのようなものですか？



例として次の情報があります(適宜、改善する予定です。)

- ・ 出欠状況、保健室の来室記録、朝いまの気持ちの回答状況など
- ・ 学校生活アンケート(小学校4年生から実施)
- ・ タブレットの利用履歴(Web検索キーワード・アクセスログなど)
- ・ タブレットのLTE回線利用量
- ・ HyperQUテスト(よりよい学校生活と友づくりのためのアンケート)(中学校実施)
- ・ いじめに関するアンケート
- ・ 東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査果(体力テスト) 等

? 5 教育ダッシュボードの画面はどのようなものですか？

A 教育ダッシュボードの画面は左図のように表示されます。表示内容・レイアウトは、随時追加・改善していく予定です。

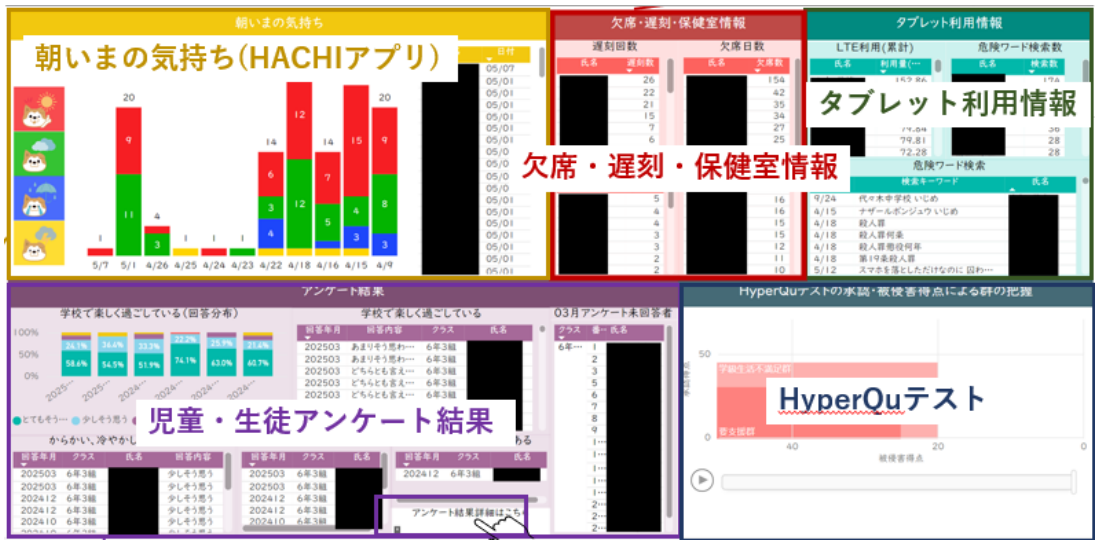
? 6 タブレットの利用履歴 (Web検索キーワードなど) はどのように活用しているのですか？

A タブレットの利用履歴の収集・利用目的は次のとおりです。学校では、これらの目的のみに利用しており、子供たちの尊厳やプライバシーを損なうような指導等を行うことはいたしません。

- ・ まず、子供たちの学習活動の中での学習に対する興味・関心を把握し、今後の学習活動に活かすために活用しています。例えば、調べ活動や探究学習において、「子供たちが何に関心を持っていたのか」、「なぜだろう」「本当かな」「すごい」という子供の興味・関心をもとに、より発展的に探究的な学びに結び付けることをねらいとしています。
- ・ その一方、時に、利用履歴の中には、子供たちの気になるキーワード (いじめなど) が含まれることがあります。「何よりも子供たちの安心・安全を守ることが重要」との考えのもと、そのような子供のSOSを見逃さないよう、子供の命にかかわることや深刻な検索キーワードがあれば、それを把握し、いち早く、子供たちへの早期の支援につなげていきます。

・ 利用履歴は、子供たちによる不適切なファイルのダウンロード等を検知・防止し、子供たちのタブレット環境のセキュリティを維持・確保し、安心・安全な学習環境を守るために活用しています。

※ なお、タブレットのインターネット利用時間は、あらかじめ制限を設け、制限以外の時間の検索等はできない設定にしており、検索履歴も収集していません。【Q11参照】



7 教育ダッシュボードは誰がどの範囲の情報を見られるのですか？

A 子供一人一人が学校に安心して楽しく通える環境づくりに、学校関係者が一丸となり取り組むことができるよう、校長・副校長、担任等の教員と教育委員会の担当者を閲覧対象にしています。

また、子供たちの詳細情報は、あくまで、当該校のみに閲覧権限が制限されています。

なお、教育ダッシュボードを取り扱う教職員には、個人情報等のデータを取り扱っている責任や、プライバシーを含む子供たちの人権への高い規範意識が求められます。このため、全学校で適正な利用を行うための研修を実施し、個人情報の漏えいや、子供たちの尊厳、プライバシーを損なうような行為を行わないよう指導徹底しています【Q10参照】。

子供たちの個人の情報は、個人面談の際など、必要に応じて本人・保護者とも共有させていただく場合があります。

8 教育データの個人情報は保護されるのでしょうか？

A 教育ダッシュボードで扱う教育データは、個人情報保護制度に則り、適正に収集・管理しています。また、教育ダッシュボードは、渋谷区の専用環境で構築しているため、外部からアクセスされる心配はなく、万全なセキュリティ対策のもと、安全にデータを管理しています。内部からの情報漏えい等を防ぐため、教員には閲覧権限のみを付与し、教育ダッシュボードのデータ出力等ができないようにしています。さらに、教育ダッシュボードを取り扱う教職員に対しては、アクセス状況の管理や、適正な運用を行うための研修等を行い、個人情報の漏えいや、子供たちの尊厳やプライバシーを損なうことがないよう指導を徹底しています。



9 教育データが目的外に使われることはありませんか？



教育ダッシュボードで扱う個人が特定できる教育データは、子供たちの在学中の学校生活における指導・支援及び学校運営、教育施策の改善等を目的として活用するものです。学校においては、安全・安心な活用を前提とし、子供たちのプライバシー保護に十分留意し、目的外の利用は行いません。

また、これらの情報は、卒業後は閲覧できなくし、速やかに、個人が識別できないよう加工処理を施します。



10 教育ダッシュボードの活用にあたり、教員への研修は行われていますか？



教育ダッシュボードを取り扱う教職員には、個人情報等のデータを取り扱っている責任や、プライバシーを含む子供たちの人権への高い規範意識が求められます。

全学校で適正な運用を行うための研修を実施し、個人情報の漏えいや、子供たちの尊厳、プライバシーを損なうような行為を行わないよう指導徹底しています。また、学校の指導的な立場にある学校管理職や生活指導主任に対しては、別途研修を実施し、適正な運用を監督することを指導しています。



11 子供たちには教育データの活用について、どのように伝えているのですか？



学校では、子供たちに対して、貸与しているタブレットは学習活動のために使うもので、学習目的以外で使わないこと、タブレットの利用の履歴（検索キーワードなど）は、学びを充実させるために、教員が確認できるようになっていることなどを指導しています。

また、タブレットを起動した際に表示される画面に、「タブレットを使うときのやくそく」のリンクを設置しており、上記の内容に加え、タブレットの利用履歴は、学校生活アンケート、心の天気などと一緒に、教員が一覧画面で見られるようになっていること、子供たちの興味・関心や悩みをキャッチし、支援できるようにしていることも伝えています。

なお、タブレットのインターネットの利用時間については、あらかじめ制限を設けており、制限以外の時間の検索等はできないようになっており、検索履歴も収集していません。

<インターネット利用時間>

小学校	平日 8:00 ~ 16:00 土曜日 8:00 ~ 13:00 休日・祝日 終日禁止 長期休業中 8:00 ~ 20:00
中学校	平日 8:00 ~ 17:00 土曜日 8:00 ~ 13:00 休日・祝日 終日禁止 長期休業中 8:00 ~ 22:00

※ 長期休業中は、宿題などの自宅学習のため、利用時間を拡大しています。

?

12 子供の利用履歴を教育ダッシュボードで見られるのが不安です。

A

Q6のとおり、タブレットの利用履歴（インターネットアクセスログ、Web検索キーワード）の活用は、日常の学習活動での興味・関心を学習活動に活かしたり、子供たちの命にかかわることや深刻な検索キーワードを把握した場合に、早期な支援により、子供たちの安全・安心な学校生活を実現するためのものです。

なお、タブレット利用履歴の活用に関して、「ダッシュボードへの表示を望まない」等のご心配やご懸念がありましたら、以下の問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】

渋谷区教育委員会事務局教育政策課 電話 3463-2983

児童・生徒向けダッシュボードについてのQ&A

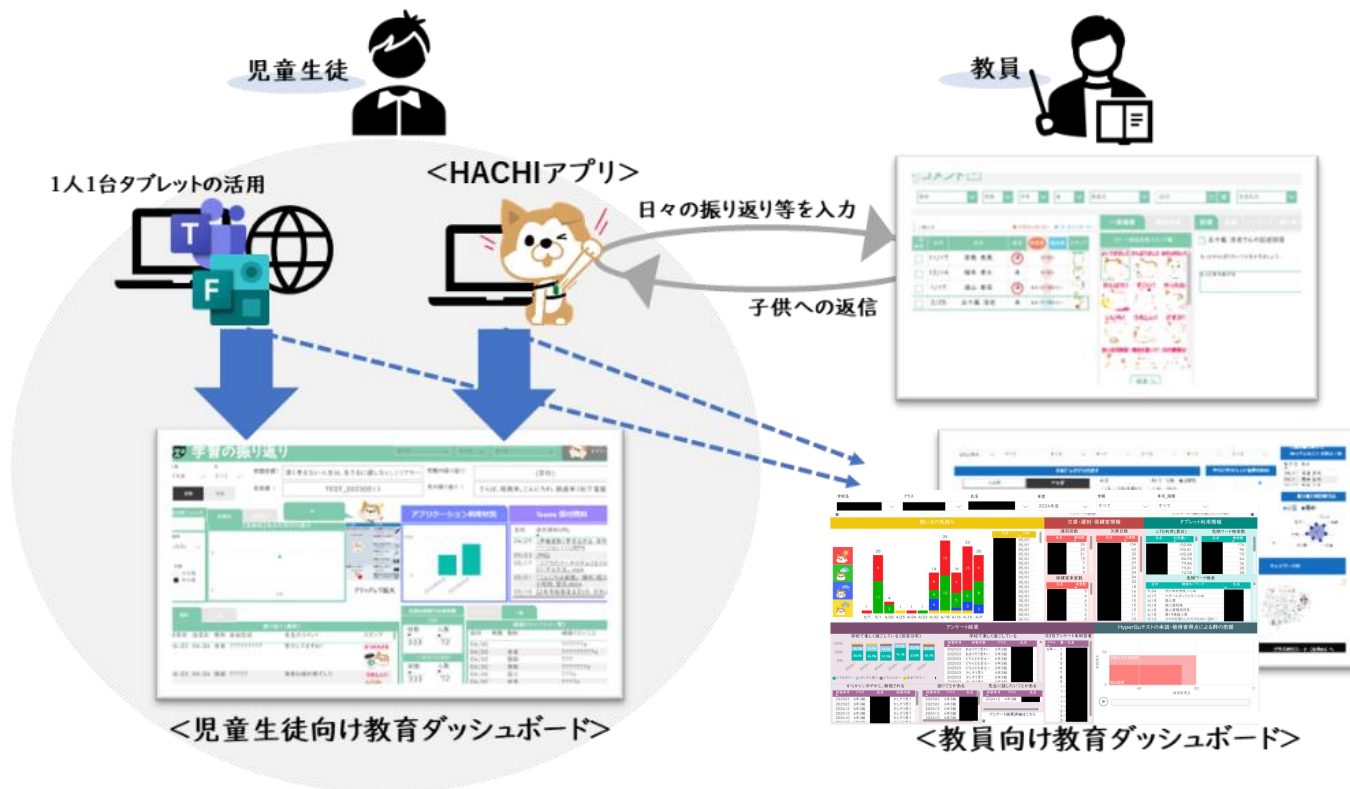


Ⅰ HACHIアプリ、児童生徒向けダッシュボード(NEXTシート)とは何ですか？



子どもたちがアプリを使って学習面や生活面の振り返りを行い、自らの取組や頑張りを子どもたち自身がダッシュボードから確認することができる仕組みです。

主な機能は①子どもたち自身が自らの学習・生活の振り返りを入力し、教員がコメントを返信する「HACHIアプリ」と、②教員から返信されるコメント・スタンプの閲覧や、自らの振り返りの変容等をグラフ化して確認できる「児童・生徒向けダッシュボード(NEXTシート)」に分かれています。





2 どうしてHACHIアプリ、児童・生徒向けダッシュボード(NEXTシート)を使うのですか？



これまでプリントやノート、インターネットフォーム等を活用し、教科ごとに異なる方法で行っていた振り返りを、機能を一元化したアプリから行います。これにより、子どもたちは、いつでも、同じ方法で、簡単に振り返りをすることができるようになります。また、自らの頑張りや成長の様子を、ダッシュボードから一目で把握することができます。



3 子どもたちはどのように活用するのですか？



タブレット端末でブラウザを立ち上げた際に最初に表示される画面(L-gate)からアクセスし、日々の学習と生活の振り返りに活用します。

例えば「学習の振り返り」において、学習の「めあての達成度」や「さらに頑張りたいこと」等の振り返りをHACHIアプリに入力します。入力後は、振り返りに対する教員の返信コメントや、自分の振り返り内容を児童・生徒向けダッシュボード(NEXTシート)から確認できます。子どもたちが自らの学習の状況を把握することにより、次の学習を自ら調整して進めていく力を育みます。

「生活の振り返り」では、HACHIアプリから日記や友達の良かったところを入力できます。日記に対して教員が入力した返信コメントは、児童・生徒向けダッシュボード(NEXTシート)からいつでも確認できます。友達の良さや頑張りを認め合うことで、自分の気付かなかった良さや可能性を認識することを目指します。

なお、児童・生徒同士のコミュニケーション機能は搭載していないため、アプリを利用して児童・生徒同士がコミュニケーションを取ることはできません。



4 教員はどのように活用するのですか？



教員は、子どもたちが入力した振り返りや日記、スタンプを確認し、子どもたちの「何を頑張っているか」、「どのくらい進んでいるか」、「どこまで理解できているか」といった学習状況を知り、また、「どんな気持ちで過ごしているか」、「困っていることはないか」等、児童・生徒理解を深める手立てとします。そして、振り返りや日記に適宜コメントやスタンプで返信をしたり、直接声をかけたりすることを通して、子どもたちを励ましたりその相談に乗ったりします。同時に、友達同士の「いいところ」見つけの入力を促すことにより、子ども同士で認め合う温かい雰囲気のできる学級づくりを目指します。

また、子どもたちの振り返りは、教員が自らの授業や学級経営について見直す機会となります。学級や学年全体のデータを分析し、どうしたら子どもたちがよりよく学べるか考え、次の授業、学級指導に生かすことができます。

その他、子どもたちとOne on Oneで向き合う時間を充実させ、今まで以上にきめ細やかな支援や励ましを実現するために、教員はHACHIアプリ、児童・生徒向けダッシュボードを活用していきます。



5 HACHIアプリ、児童・生徒向け教育ダッシュボードで集約されている情報はどのようなものですか？



例として次の情報があります。原則、子どもたちが自ら入力した情報が中心になります。情報は適宜、見直しを図ります。

なお、HACHIアプリの入力内容は、教員向け教育ダッシュボードにも一部反映いたします。

<HACHIアプリで入力>

- ・ 学習・生活の目標・振り返り・ 単元・授業ごとの振り返り
- ・ 子ども同士のいいところみつけ(相手の児童・生徒には直接届きません)
- ・ 日記・ 今の気持ちを表すスタンプ・ 体温・ 教員から子どもへのコメント

<その他>

- ・ Microsoft Teams添付資料・リアクションログ(教員向けのみに表示)



6 HACHIアプリ・ダッシュボードは誰がどの範囲の情報を見られるのですか？



子どもたち一人一人が学校に安心して楽しく通える環境づくりに、学校関係者が一丸となり取り組むことができるよう、校長・副校長、担任等の教員と教育委員会の担当者を閲覧対象にしています。上記以外の第三者に情報を提供することはありません。

また、子どもたちの詳細情報は、あくまで、当該校のみに閲覧権限が制限されています。

なお、HACHIアプリやダッシュボードを取り扱う教職員には、個人情報等のデータを取り扱っている責任や、子どもたちの人権やプライバシーへの高い規範意識が求められます。このため、全学校で適正な利用を行うための研修を実施し、個人情報の漏えいや、子どもたちの尊厳、プライバシーを損なうような行為を行わないよう指導徹底しています。